
コレクティブインパクトの イメージと課題

藤井寺市協働人権課 増田

行政部門からの話題提供

■ゆらぎ

ステークホルダー

最初から定まっているもの < 徐々に増加・変化



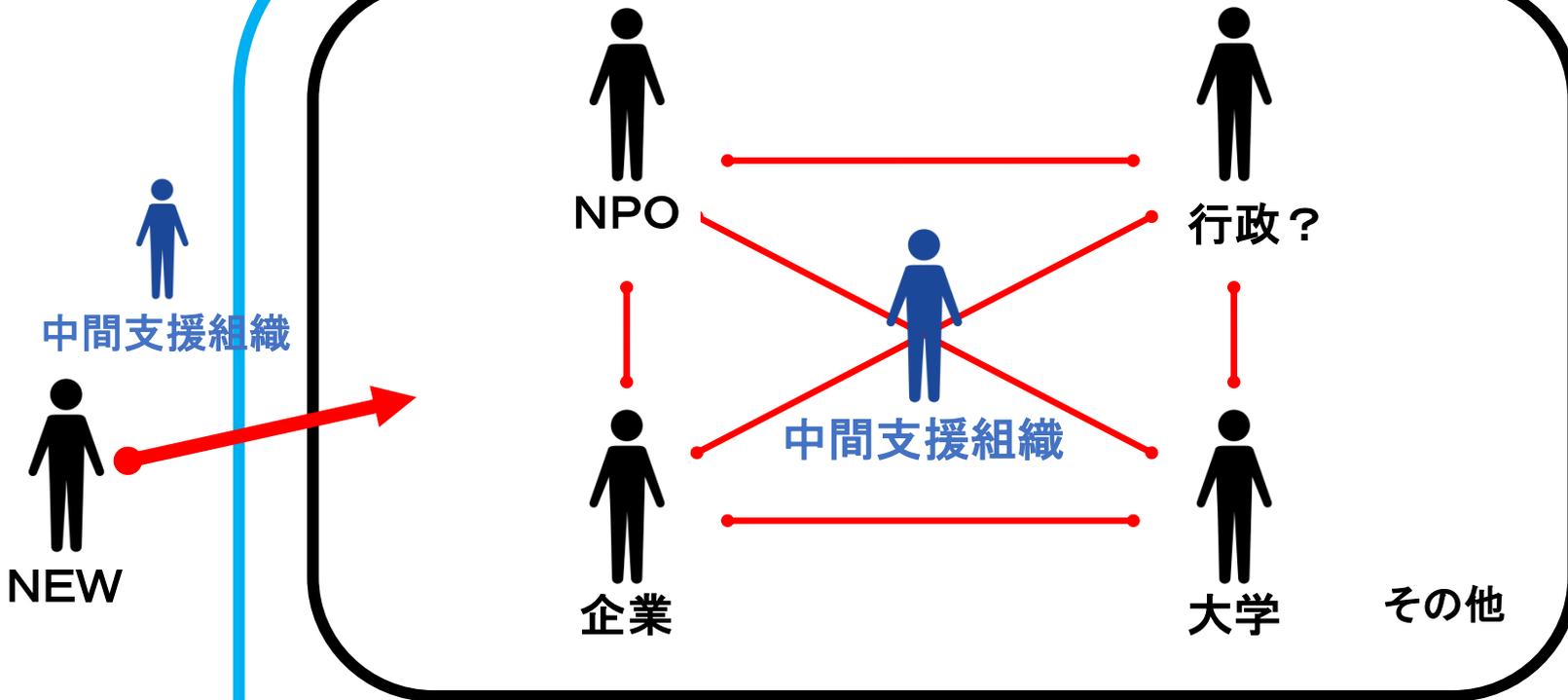
目標・指標も変化していく

★新たなステークホルダーをスムーズに仲間に加えていくためには？

★どの段階で、目標設定・指標作成・評価を行っていくか？

コレクティブインパクトのイメージ??

コレクティブインパクト



バックボーン組織
(調査・分析・提示)

行政部門からの話題提供

■ ゆらぎ

ステークホルダー

最初から定まっているもの < 徐々に増加・変化



目標・指標も変化していく

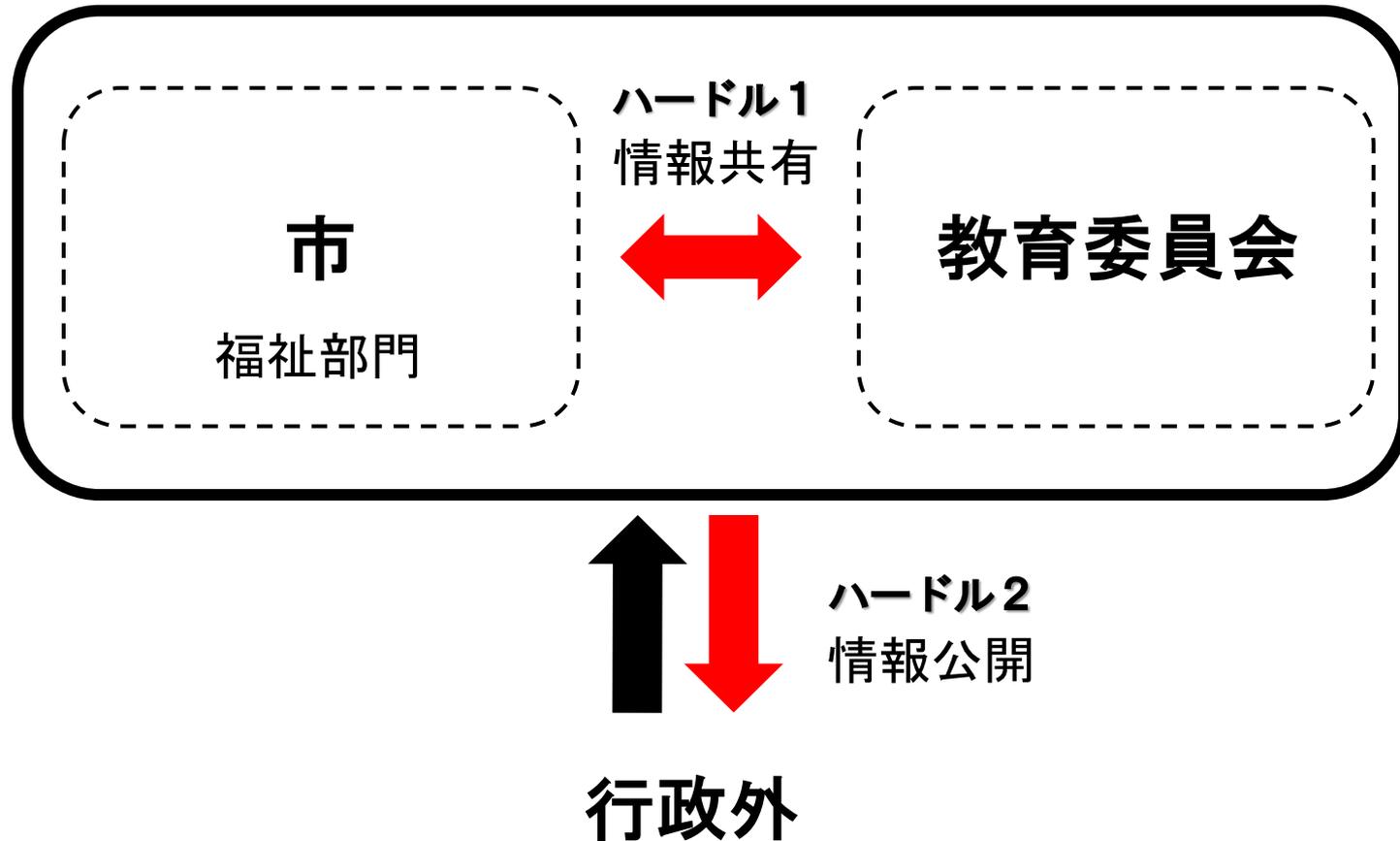
★新たなステークホルダーをスムーズに仲間に加えていくためには？

★どの段階で、目標設定・指標作成・評価を行っていくか？

■ データ収集

★新たにデータを収集する or 既存のデータ（行政など）

既存データ（行政）を活用するハードル



★福祉系などデリケートなものほど情報共有・情報公開のハードルが高い

しかも、複数部署や他行政機関との連携が必要なほど共有のハードルがあがる？

ハードル1・ハードル2は乗り越えられないのか？

家庭の経済格差と
子どもの認知能力・非認知能力格差の
関係分析

— 2.5万人のビッグデータから見えてきたもの —

2018年1月



データ

箕面市

分析・調査

日本財団

調査委託：

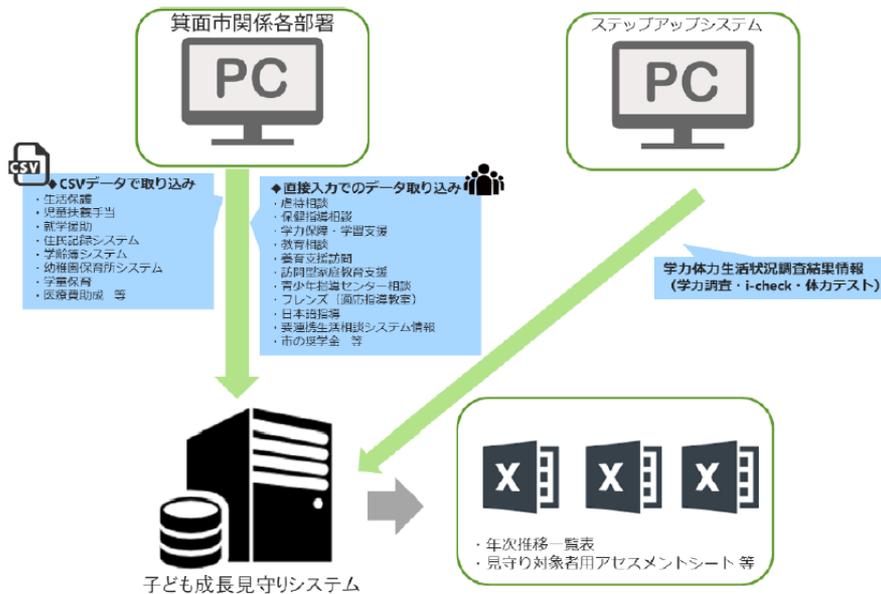
三菱UFJリサーチ&コンサルティング

ハードル1・ハードル2は乗り越えられないのか？

家庭の経済格差と
子どもの認知能力・非認知能力格差の
関係分析
- 2.5万人のビッグデータから見えてきたもの -
2018年1月



子ども成長見守りシステム



ビッグデータ (2.5万人の0~18歳の子ども)

データ

箕面市

分析・調査

日本財団

・ 経済状況

・ 支援状況

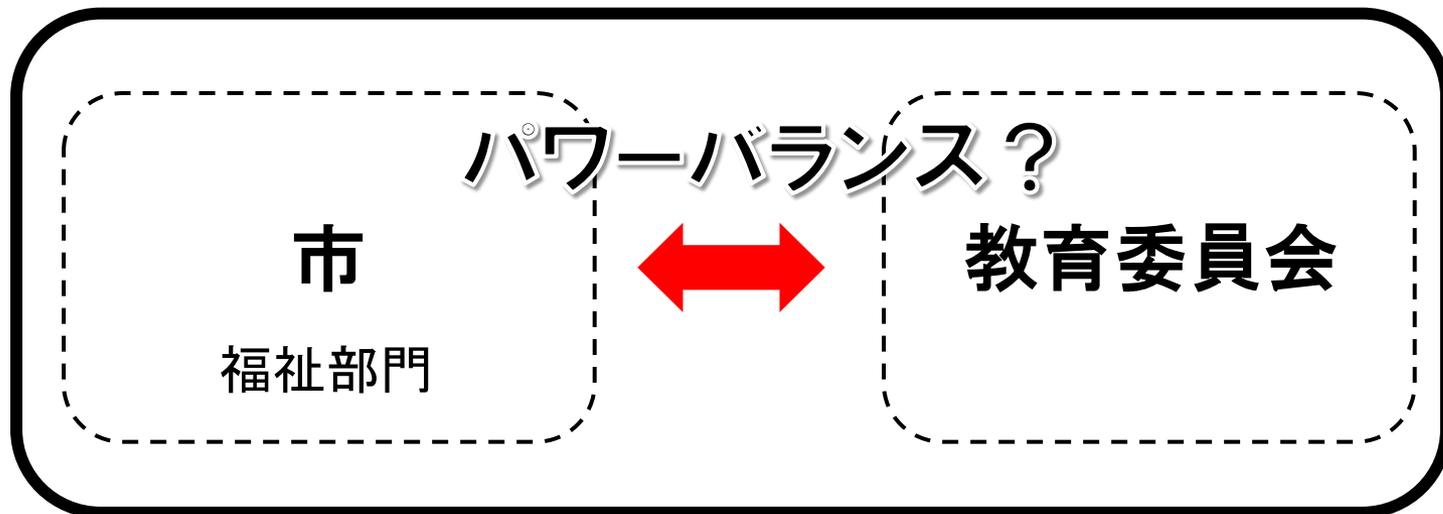
・ 学力テストの成績

・ 生活習慣

調査委託：

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

なぜ、このシステムをつくれたか？



↑ ↓ 関係性

日本財団 (資金提供団体の位置づけ?)

各市町村レベルで同じことが可能か？

先進事例として、可能性はあるが各市町村でやるには結構しんどいかも…

■ 関係部局同士のパワーバランス

■ システム構築する資金的・時間的余裕がない

■ 担当レベルで分析調査する資金的・時間的余裕やノウハウがない（システムがあっても）

■ 市単位では統計学的にサンプル数が乏しい